

このWeb サイト上の情報は、対象医薬品の使用に伴って観察された副作用の可能性のある事象ですが、これらは必ずしも対象医薬品の使用と因果関係を有するものではありません。

これらの情報は、対象医薬品またはその活性物質がここに掲げる事象をもたらすものであること、またはそれらが安全に使用することのできないものであることを意味するものではありません。対象医薬品のベネフィット及びリスクは、全ての利用可能なデータを詳細に検討し科学的に評価することによってのみ結論づけられるものです。

また、こうした情報の提供は、規制当局や製薬企業が医薬品及びその活性物質の安全性を検討するために使用する情報を、医療関係者に広く公開し、安全性の検討についての透明性を確保することを目的としています。

なお、これらの情報は、今後の調査により予告なしに変更される可能性があります。

器官別大分類	副作用名	重篤	非重篤	合計
感染症および寄生虫症	帯状疱疹	0	2	2
	肺炎	2	0	2
	淋菌感染	2	0	2
	菌血症	1	0	1
	蜂巣炎	1	0	1
	結膜炎	0	1	1
	膀胱炎	0	1	1
	エプスタイン・バーウイルス感染	0	1	1
	細菌性髄膜炎	1	0	1
	ヘルペス性髄膜炎	1	0	1
	上咽頭炎	0	1	1
	上気道感染	1	0	1
	細菌性敗血症	1	0	1
	細菌性尿路感染	1	0	1
	医療機器関連感染	1	0	1
	口腔ヘルペス	0	1	1
良性、悪性および詳細不明の新生物（嚢胞およびポリープを含む）	結腸癌	1	0	1
	皮膚の新生物	0	1	1
代謝および栄養障害	食欲減退	0	1	1
精神障害	不眠症	0	1	1
神経系障害	頭痛	0	2	2
	視神経脊髄炎スペクトラム障害	2	0	2
眼障害	眼痛	0	1	1
	眼瞼浮腫	0	1	1
	閃輝暗点	0	1	1
呼吸器、胸郭および縦隔障害	喉頭痛	0	1	1
	肺高血圧症	1	0	1
胃腸障害	下痢	0	1	1
肝胆道系障害	胆嚢炎	1	0	1
	肝機能異常	0	1	1
皮膚および皮下組織障害	薬疹	1	0	1
	湿疹	0	1	1
	紅斑	0	1	1
	発疹	0	1	1
筋骨格系および結合組織障害	関節痛	0	1	1
	筋肉痛	0	1	1
	四肢痛	0	1	1
	全身性エリテマトーデス	1	0	1
腎および尿路障害	出血性膀胱炎	1	0	1
	腎機能障害	1	0	1
生殖系および乳房障害	性器分泌物	0	1	1
一般・全身障害および投与部位の状態	発熱	2	1	3
	状態悪化	0	1	1
	倦怠感	0	1	1
臨床検査	アラニンアミノトランスフェラーゼ増加	0	1	1
	C-反応性蛋白増加	0	1	1
	γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	0	1	1
	リンパ球数減少	0	1	1
	肝酵素上昇	0	1	1
	腓酵素増加	0	1	1
傷害、中毒および処置合併症	骨折	0	1	1
	SARS-CoV-2曝露	0	1	1

※1 今後の調査により内容が変更となる場合があります。

※2 各副作用の種類「合計」「重篤」「非重篤」の「例数」については、それぞれを計算しております。